

公表:令和6年 3月 29日

事業所名ヨシア

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースを確保できています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段に手すりがあり、転落防止ネットも貼ってあり安全が守られています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			計画から実行、振り返り、次に向けてなど日々の会話の中で行うことが出来ています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			部門別研修、朝研修、外部の方の研修、外部に出向いての研修等に参加し知識を深めています。	積極的に研修に参加しています。
適切な 支	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談を通して、子どもや親の状況、困り感などを共有し、どのような支援が必要かを考え作成しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			記録の中でターゲットスキルの回数を入力し、数値化しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもに合わせてどのような活動を実行していくかを考え、計画を立てています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達にもやってみたいことなどアンケートを出ることは実現していくようにしていきました。	職員間でチームで立案を行っていきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			スケジュールを作り、掲示見える化しています。変更などあるときには事前に伝えていっています。	

支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの様子に合わせて、個別対応が必要な子には個別の活動を行っていました。徐々に少人数、集団と移行できるように工夫していました。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			学びの時間の内容や、公園、室内活動の内容を事前に話し合い、必要な準備を行っていました。	職員間のコミュニケーションを大切にしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			今日のこどもの様子、職員の関わりを振り返り、次の改善に繋げていきました。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			子どもの様子を記入していきました。	更に、子どもの発した言葉、職員の関り後の子どもの変化を記入しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			会議やケースカンファレンス、日々の振り返りの中で変化や成長を把握してきました。関わりなどで変更がある時には職員で相談しながら良い支援を考えていきました。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			基準に沿って、子どもの発達に合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの、家族の状況を把握している職員が参加して行きました。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の先生、小学部の校長、親とも連携しながら必要な対応を取っていました。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアの子は利用していませんでしたが、クリニック、看護師さんとは常に連携取れる環境がありました。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センター研修にも参加しています。さまざまな事業所と交流、連携できる機会がありました。	センターと連携をとり助言や研修を受けていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				

連携	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時や、電話等で気になる様子、成長など共有していきました。必要に応じてサービスの利用を勧めていきました。	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			コモンセンスペアレンティングをグループカウンセリングで実施していました。普段の関りでも肯定的な関りや感情のコントロールは一緒に練習していきました。	
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家、学校、事業所での様子など共有していく中で関わりに困っていることがあったときには、どのような関わりをしたらよいか一緒に考えていきました。	
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			午後部の活動などあり、親同士が協力し子どもの活動をサポートし合える機会がありました。	
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			もっとこうして欲しいなどという要望を聞いていき、どのようにしていくかを上司に報告、相談して改善していきました。	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			情報ツール(がくぶり)を使用し連絡事項を発信していきました。行事の変更なども伝えていきました。	
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			書類の保管、事業所携帯のパスワード設定など行い個人情報が漏れないように気を付けています。	
	㉙	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせて理解しやすさが異なるため、言葉を選び話すようにしています。	
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所に掲示しています。	
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回の避難訓練に加え、年に1回の小学校への避難訓練を実施して備えています。	マニュアルに沿って行っています。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			落ち着くスキルを週1回を職員同士で練習しています。	

等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			子ども、親の同意の元必要な時に行う流れがあります。	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			日々、給食室との連携でアレルギー防止に努めました。途中アレルギー追加の際も、親と給食室と連携していきました。	アレルギー対応マニュアルに沿って行っています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。